

「病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究」

研究参加へご協力をお願い

—平成27年4月1日～2027年5月31日までに当院に院外心停止にて救急搬送された患者さんへ—

主たる研究機関 京都大学大学院医学研究科

研究責任者 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 教授 石見 拓

当院の責任研究者 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 救命救急・災害医学講座 教授 中尾 篤典

当院の分担研究者 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 救命救急・災害医学講座 准教授 内藤 宏道
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 救命救急・災害医学講座 講師 湯本 哲也

1. 研究の意義と目的

近年、日本における病院外での心停止患者さんの社会復帰率は大きく改善しています。しかしながら、患者さんが搬送された病院で行われる集中治療の実態ならびに有効性については十分に検討されていないのが現状です。今回、我々は全国の病院外で発生した心停止患者さんの病院到着後の集中治療に関する蘇生記録ならびに社会復帰に関係すると思われる検査所見を全国的に登録し、病院での集中治療の効果を検討することを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

平成27年4月1日から2027年5月31日までに当院高度救命救急センターに救急搬送された全ての院外心停止患者さんを対象とします。岡山大学病院で約600名（全国で約50000名）の患者さんが対象となります。

2) 研究期間：

倫理委員会承認後～2028年5月31日

3) 研究方法

平成27年4月1日から2027年5月31日までの間に当院に救急搬送された院外心停止の患者さんで、研究者が診療情報をもとに4)の調査票等に記載のあるデータを抽出します。検査項目は保険診療で認められた通常の日常診療で行われたものであり、追加の検査を行うことはありません。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。データの管理に当たっては、連結可能匿名化とし、対応表を用いて個人が識別できるようにします（下記の通り神経学的予後の評価が必要なため）。

年齢・性別のほか、心停止からの時間経過および治療内容、病院到着時の血液検査データ、CTなどの画像診断所見、心電図などの生理学的検査、心停止の原因疾患、1ヶ月および3ヶ月後の神経学的状態など。

5) 情報の保護：

この研究で得られた結果は、大学内や専門の学会、論文で発表されることがありますが、個人情報保護法と疫学研究に関する倫理指針に基づき、研究に利用させて頂くうえで、個人情報は厳重に管理致します。患者さん個人に関する情報（氏名・年齢・連絡先など）が外部に公表されることは一切ありません。

当院での調査情報は岡山大学病院高度救命救急センター内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。研究成果公表後3年間は資料を保存しますが、本研究以外に使用することはありません。

この研究に、ご自分やご家族のデータが使われることを拒否される場合は、下記の研究担当者に2027年5月31日までにご連絡下さい。たとえ、協力を拒否されても、今後の診療になんら不利益になることはありません。しかし、拒否のお申し出があった時点で、既に研究結果が論文および学会などで公表されていた場合には、研究結果を破棄できないことがあります。この場合でも個人が特定されることはなく、個人情報保護されます。その他、ご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 救命救急科

氏名：湯本 哲也

電話：086-235-7426 ファックス：086-235-7427

E-mail: tyumoto@cc.okayama-u.ac.jp